

記念デザインマンホール蓋の作製・設置について

1 作製の目的

平成27年度より実施している「水道100周年・下水道50周年記念事業」については、既存事業の活用や独自事業の開催を行っているところであるが、水道週間のPRや記念ラベル、泉水の作製など、水道に係る内容が中心となっており、下水道に特化した分野の事業が少ないのが現状である。

そこで、歩道等で目にする機会も多い「マンホール蓋」を活用した事業を実施することにより、普段、下水道に関心がない人にも気に留めていただくツールとして位置づけ、下水道事業のイメージアップにつなげることを目的として、下水道50周年を記念した特別デザインのマンホールを作製し、設置する。

2 記念マンホール蓋の設置場所について

- ・ 本市で最初に下水道が整備された区域である田川第1処理区内の中心市街地に設置する。
- ・ 設置箇所については、記念マンホール蓋自体がまち歩きの特長となるなど、地域資源として活用できるよう、買い物客や観光客などの人が集まりやすいポイントを選定する。あわせて、設置数を一定数に抑え、シリアルナンバーを付する等の仕掛けを施すことも検討していく。

3 記念マンホール蓋のデザインについて

お客様に実際に歩いて見つけてもらうことを考慮し、デザインコンセプトは、「見つけたら思わず嬉しくなるような、街歩きの楽しさの一助となるもの」とする。具体的には、上下水道局マスコットキャラクター「水道ぼうや」を中心に据えつつ、以下のようなコンセプトの中から1案を選定し、デザイン案を作成していく。

- ① 「餃子」や「カクテル」など、宇都宮の名物をモチーフとしたもの
- ② 「きぶな」などの伝統工芸品や宇都宮のシンボル「大イチョウ」などをモチーフとしたもの
- ③ 水道100周年・下水道50周年を迎える宇都宮市の上下水道施設（今市浄水場、下河原水再生センターなど）をモチーフとしたもの
- ④ 水道100周年・下水道50周年記念ロゴマークをモチーフとしたもの

4 その他

記念マンホール蓋と同デザインのコースターを作製し、事業のPRに活用することなどを検討していく。